



# 「Display China 2018」に出展

当社は、6月27日～6月29日に上海新国際博覧中心（中国上海市）において開催された「Display China 2018」に出展した。近年、中国市場は電子材料分野における主戦場となっており、第2回目の開催となる今年是世界各国からおよそ3万人が来場した。当社としてはディスプレイ業界の最先端技術が集結する本展示会を新規顧客開拓の絶好の機会と捉え、展示パネル等も刷新し入念な準備のもとで臨んだ。開催期間中は当機能材カンパニー所属の中国人社員ならびにJX上海の現地スタッフの尽力によって、来場者との活発なコミュニケーションが可能となり、その場でサンプル要望を受けるなど大きな成果を上げた。また、中国メディア会社 CINNO Research や化学工業日報をはじめ計7社からの取材を有効に活用することで、国内外における当社技術の認知度を高めることにも成功した。

（機能材カンパニー 機能材事業化推進部 機能材事業化推進3グループ 藤代 理恵子  
機能材事業化推進5グループ 魯 玥 ）

## <当社の出展内容>

### ○ナノインプリント技術

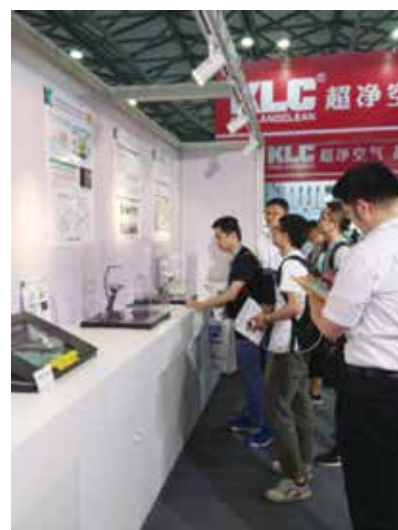
基材の表面にナノメートルサイズの微細構造を形成するJXTG独自の技術であり、微細構造の形状を変化させることにより様々な光学的機能を発現させることができる。有機ELディスプレイが太陽光の反射により見えづらくなる現象を防ぐ、「反射防止フィルム」などへの応用が可能である。

### ○透明ポリイミド用モノマー CpODA

脂環式構造を有するポリイミド原料（酸無水物）で、一般的な黄褐色のポリイミドと同程度の耐熱性を保ちながら透明なフィルムを作製できる点を特徴とする。現在各社が開発を進めるフォルダブルディスプレイなど、ガラス基板では実現できないフレキシブル用途への採用が期待できる。



ナノインプリント（上）、  
透明ポリイミド用モノマー（下）の展示物



当社出展ブースの様子